

開会の辞

東京医科歯科大学（歯学教育認証評価検討 WG 座長）荒木孝二

皆様、こんにちは。

今日は2月28日で、明日から年度末の3月になります。皆様大変お忙しい中、また土曜日にも関わらず、このように大勢の先生方にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

この「歯学教育認証評価制度等の実施に関する調査研究」は、3年目の終わりに来ています。この後多くの先生方に講演をしていただく予定です。今年度は2大学に対してトライアルを実施し、それに対しての検証をして、トライアルの状況、それから今後のことについて、先生方にお見せ出来る状況になっておりますので、それらを先生方に聞いて、率直なご意見を頂きまして、それを次年度に反映させたいという目的で、今回のシンポジウム開催をいたしましたので、よろしくお願いします。

本日は先生方のお手元に資料をお配りいたしました。見ていただきますと、このシンポジウムのポスターのコピーがございます。スケジュールが書かれております。まずは、文部科学省の高等教育課企画官の平子哲夫様、次に歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議座長の江藤一洋先生、そして本日北九州市小倉で、このような立派な会を開催するにあたり、非常にご尽力いただきました九州歯科大学の理事長・学長であられる西原達次先生にお越しいいただきまして、ご挨拶をいただきます。また、厚生労働省にもこの歯学認証についての、何を私たちはやろうとしているのか、また今後何をして行こうとしているのかを、知っていただきたいということでシンポジウムのご案内を差し上げたところ、高田淳子先生にご出席を頂いております。

実は昨年2月8日に同じように東京でこのようなシンポジウムを開催しました。私、朝起きて窓を開けたら東京は歴史的な大雪で、その瞬間にがっくりきて窓を閉じたということがありました。昨年ご出席頂いた先生も本日この場所におられると思います。本日はホテルで朝起きた時にまぶしいなと思って、まさか雪？と開けたら、お日様がカンカンの非常にいい天気でした、まぶしくて窓を閉めました。このように、本日は非常にいい天気でございます。4時間の長丁場ではございますが、ご出席頂いた先生方には最後まで聞いていただいて、忌憚のないご意見を頂きたいと存じます。我々は、それらの意見を今後活かして行きたいと思っております。

それでは、これから歯学教育認証評価平成26年度成果発表のシンポジウムを開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。